

10月 保健だより

岩国市立平田中学校 保健室

10月10日は目の愛護デー 目の健康を考えよう!

令和6(2024)年度 №6

「目は心の窓、体の窓」「目の疲れは全身の疲れを表すバロメーター」といわれるくらい、目が疲れたと感じたときは、体も不調なことが多いようです。目をいたわる生活をすること、どんなところに気をつけたらいいのでしょうか。

スマホによる体へのトラブルに注意!

スマホ老眼

年を取って目の調節機能が衰え、近くのものにピントが合いにくい状態の老眼とは違います。スマホ老眼は、近い距離を見続け、目の筋肉が緊張する状態が続き、ピント調節機能が効かなくなる状態のことをいいます。

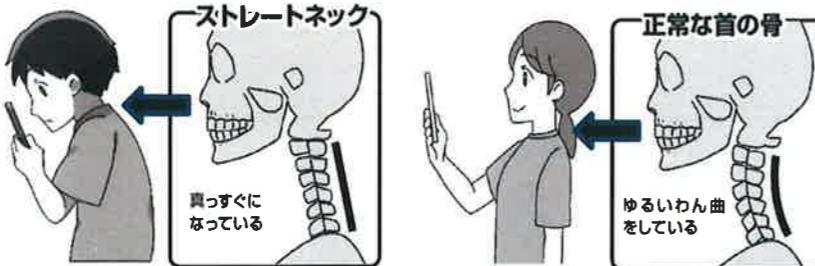


スマホ老眼チェック

- スマホやパソコンなどを1日8時間以上使用している
- スマホを連続で90分以上使用していることが多い
- 休んでも目や体の疲れがない
- スマホを利用した後に、画面から視線をはずすと景色がぼやける
- 手元にあるものを見ていると疲れを感じたり、ぼやけて見えたりする
- 就寝前にスマホを見ている
- 目の乾き、充血、腫れなどのトラブルがある
- 目の奥が痛くなる・肩や首がこっている
- 頭痛がしたり、頭が重く感じたりといった症状が出る

ストレートネック

不自然な前かがみ姿勢を保つことで起こるといわれていて、「肩こりがひどい」、「首が痛い」、「常に頭痛がする」といった症状があれば、ストレートネックの可能性があるかも！



ストレートネックチェック

- 肩がこりやすい
- 上を向きづらい
- 首や肩回りに痛みがある
- 手や肩回りにしびれがある

スマホ依存にならないために

スマホ依存に気をつけよう！



スマホ依存度チェック 結果分析表

スマホ依存はまだ大丈夫

当てはまる数：0～2個

スマホを使わない趣味はありますか。これからも、ツールとしてスマホやタブレットを活用しながら、日常の周りの人とのコミュニケーションを大切にしてください。

スマホ依存は軽度

当てはまる数：3～4個

スマホに夢中になっている時間は1日のうちどのくらいですか。画面の中の世界と関わる時間が増え続けると、現実の家族や友だちと心のずれ違いが起こるかもしれません。

スマホ依存症です

当てはまる数：8～9個

「スマホがないと生きていけない」そんな感覚になっているかもしれません。ツールであるはずのスマホが生活の中心になってしまいかねません。依存症は一人ではやめられない病気です。工夫をしても改善しない場合は、専門機関に相談しましょう。

スマホ依存度チェック 結果分析表

スマホ依存は中レベル

当てはまる数：5～7個

気づかないうちにスマホに依存しているようです。視力の低下や肩・首の痛みなど、体に不調が起きたります。ツールであるスマホにふり回されないよう、スマホやネットの使用時間を書き出して、自分で決めた時間でやめるようにしましょう。



スマホ依存にならないためには、スマホを使わない時間をもうつことが大切です。たとえば「スマホ以外の趣味を見つける」など、日常生活でできるところから取り組んでみましょう。